

爽やかなスミレ様の香りを持つチャ新品種候補 「90-2-213」

[研究のねらい]

- ・嗜好が多様化しており、香りに特徴のあるお茶が求められている。
- ・特に若い女性は花様の香りを好む傾向がみられることから、爽やかなスミレ様の香りのする「90-2-213」を開発した。

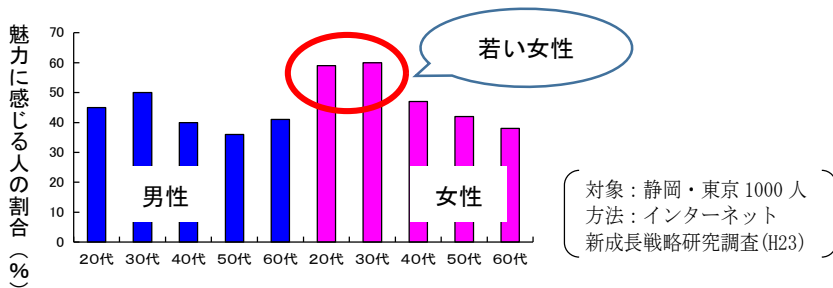


図1 花様の香りに対する嗜好

[研究の成果]

○「香駿」を凌ぐ『香り緑茶』適性

- ・香り緑茶製法で製造した「90-2-213」は、「さわやかな花様の香り(スミレ様の香り)」があり、香気+滋味の評価点では、香りが特長の品種「香駿」を上回る(図2)。
- ・花様の甘い香りを呈する主要8成分の含有量の合計が、一番茶では「香駿」より1.5倍程度多くなる(図3)。
- ・消費者の嗜好調査では、75%が「90-2-213」の香りを「好き」または「やや好き」と評価した(図4)。

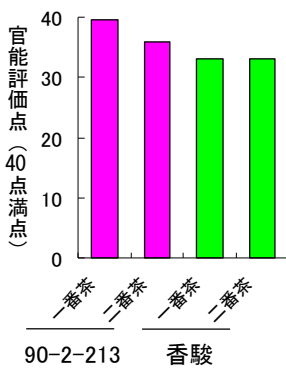


図2 香気+滋味の評価点

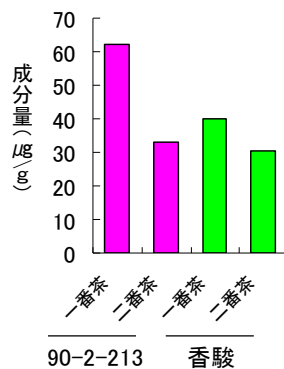


図3 主要8香気成分量

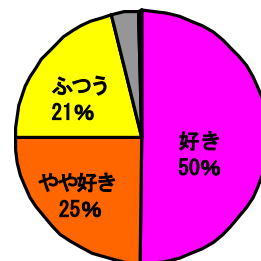


図4 「90-2-213」の香りの評価
対象：世界お茶まつり(2019)来場者 人数：207人

○「90-2-213」の一般特性

- ・交配：種子親♀「するがわせ」×花粉親♂「きょうみどり」
- ・早晚性：中生(「やぶきた」比一番茶摘採期±0日)
- ・樹姿：やや直立
- ・樹勢：強
- ・耐寒性：赤枯れ『強』
- ・耐病性：炭疽病『やや弱』、赤焼病『やや弱』
- ・耐虫性：クワシロカイガラムシ『やや弱』
- ・収量性：成木『多』



図5 「90-2-213」の一番茶